

「神戸親和女子大学国際教育研究センター紀要」執筆要領

1. 和文原稿は、A 4判用紙を使用し、行内文字数40字、各頁行数35行で、15枚以内とする。欧文原稿は、A 4判用紙を使用し、行内文字数70字、各頁行数25行で30枚程度とする。いずれの場合も、総枚数のうちに図・表・写真を含むものとする。
2. 和文原稿には欧文の、欧文原稿には和文の題名を付加する。
また、すべての原稿に英文アブストラクト（100ワード程度）を付加するものとする。欧文以外の外国語（例、アラビア語）の文字を使用する場合もこの原則に従う。
3. 図表などについては以下の各項に従う。
 - (1) 図表、写真、表、模様、デッサン等は、図1、表1など（欧文では、Fig. 1、Table. 1、Photo. 1など）のように記入し、本文原稿の欄外、もしくは本文中に挿入箇所を明記する。
 - (2) 図、模様、デッサンなどは明瞭に書き、可能な限り図に寸法・縮尺などを記入すること。
図版等の極端に多いものは、予算を超える分については自己負担とする場合もある。
 - (3) 図、表、写真などは、本文に比べてなるべく少なくする。
4. 外国人の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語とする。その他の外国語については、なるべく訳語を用いること。外国語を用いる場合は、初出の際、訳語に引き続いて（ ）をつけて示すものとする。
5. 参考文献や引用文献は、和文・欧文を問わず、本文の終わりに「文献」の見出しで、著者の姓を基準にしてアルファベット順に一括して記載すること。
6. 数式、化学式などは、その上と下を1行ずつ空けて書くこと。
7. 文中においては、ゴシック、イタリック、ローマンの別を必要とするものには、(ゴ)、(イタ)、(ローマン)など、はっきりとその旨を明示すること。
8. 校正は、原則として、投稿者の責任において行うものとする。
ただし、投稿者がやむを得ない事情で校正することができない場合は、投稿者は校正の方法・内容などを編集委員会に一任するものとする。